

JA全農ウィークリー

2
面

令和元年台風19号により被害を受けられた皆さまに
心よりお見舞い申しあげます

3面

NON-GMOトウモロコシの長期種子供給
協定締結後に記念撮影をする生活クラブ
連合会と全農子会社CGB社・種子会社の
関係者(3面)



秋田県オリジナル品種の米「つばざろい」を100%使用した日本酒「出羽鶴 純米吟醸 つばざろいのお酒」(5面)



台風19号で各地に甚大な被害(2面)



3 農薬のピッキング・配送担う 「中央物流センター」始動(鳥取県本部)

安全・安心して働ける労働環境実現へ
実証実験スタート(耕種総合対策部)

4 三浦半島産ダイコン・キャベツ使った
メニュー完成(神奈川県本部)

就農や農業アルバイトに関する
相談会を開催(愛媛県本部)

「空フェス2019」に秩父4Hクラブと出展
(耕種総合対策部TAC推進課)

5 広島県産飼料米を使用した卵
「ひろたま」発売(広島県本部)
「つぶぞろいのお酒」2000本を限定発売
(秋田県本部)
「もっちり玄米パックご飯(黒米入り)」
発売(営業開発部)

6 畜産事業の研究最前線⑧
ET研究所 研究開発室(畜産生産部)

7 JAズームイン(鳥取:JA鳥取西部)

8 みのりみのる11店舗で
北海道フェア実施中(フードマーケット事業部)
みのるダイニングで「秋のフルーツフェア」
開催中(岩手県本部)

JAタウンショップ紹介

銀山のおくりもの

(島根県・JAしまね石見銀山地区本部)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

NON-GMOトウモロコシの 長期種子供給協定締結 (畜産生産部)

令和元年台風19号により被害を受けた皆さまに 心よりお見舞い申し上げます — J A 全農

10月12日に本州に上陸した台風19号は、東日本を中心とする各地に甚大な被害をもたらしました。

このたびの台風により被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

全農では、9月13日に設置した「令和元年台風15号による風水害対策本部」を10月14日付で拡大し、台風15号および19号による組合員・JA・全農グループの被害状況の把握と必要な支援対応を迅速かつ的確

に実施するため、対策本部を設置しました。

一日も早い復旧・復興に向けて総力をあげて支援してまいります。

【広報・調査部】

台風で各地に甚大な被害



がれきが流れ込んだカーネーションのハウス（長野県佐久穂町で）



堤防の決壊で水没したハウス（栃木県佐野市で）

※写真は日本農業新聞提供



水に浸かった農地（千葉県柏市で）



浸水した米倉庫（宮城県・JAみやぎ仙南で）



浸水した福島県本部事務所の後片付けに終われる県本部職員（福島県郡山市で）



台風15号で被災した千葉県ではJAグループ職員による支援を実施。写真は、強風でつぶれたハウスの撤去作業をする千葉県本部職員



News!



NON-GMOトウモロコシの長期種子供給協定締結

生活クラブなどの要請に応え安定調達へ

畜産生産部



協定締結後に記念撮影をする生活クラブ連合会とCGB社、種子会社の関係者

この協定は生活クラブなどの要請に応える形で、これまでの2011年から2020年までのNON-GMO種子供給を確保する内容でしたが、今回の締結により2025年までのNON-GMO種子供給が確保され、2027年に日本での使用される分までの安定調達のめどが立ったことになりました。

米国で穀物の集荷・販売を行う全農の子会社CGB社は9月下旬、NON-GMOトウモロコシの安定確保のため、種子会社と長期種子供給協定を締結しました。

News!



農薬のピッキング・配送担う「中央物流センター」始動

鳥取県内初の広域物流拠点が竣工

鳥取県本部



テープカットで完成を祝う尾崎博章県本部長(右から2人目)、倉重徳也常務(同3人目)、JA鳥取中央の栗原隆政組合長(同4人目)

同センターでは、農薬の戸配送のためのピッキングを行い、区域ごとに分けて組合員へ配送します。全農が鳥取県内に設ける広域物流拠点として初めての施設です。同センターの活用で、生産資材の安定的かつ継続的な供給・組合員の利便性の向上に努めていきます。

鳥取県本部は10月1日、倉吉市でJA鳥取中央管内の農薬のピッキング・配送を担う「中央物流センター」の竣工式を行いました。

News!



安全・安心して働ける労働環境の実現へ

「ゆめファーム全農こうち」で実証実験スタート

耕種総合対策部



腕時計型デバイスによる計測イメージ

実証実験では、農作業者が腕時計型デバイスを装着し、取得される心拍数と圃場内の温度・湿度から熱中症などの危険を予測、暑熱負担が高いと判断した場合は、管理者に通知します。管理者は通知に基づき、農作業者の健康を確保します。また、労働時間や生産性を可視化する労務管理機能や外国人技能実習生などのコミュニケーションのための多言語翻訳機能を実装する予定です。

これらの成果を活用し、2021年3月末までを目標にサービス提供開始を目指します。

全農とNTT東日本、(株)NTTアグリテクノロジーズは10月から、全農が運営する施設園芸の実証農場「ゆめファーム全農こうち」(高知県安芸市)で、IoTを活用した農作業者の熱中症防止などの実証実験を始めました。

News!



三浦半島産ダイコン・キャベツ使ったメニュー完成

昭和女子大×産地JA×京急百貨店がコラボ

神奈川県本部



今年のメニューに決まった「三浦半島産大根と海老のたらこ炒め丼」(左上、おぼんdeごはん)、「三浦半島産キャベツのピリ辛肉味噌定食」(左下、同)、「足柄牛のスペツァティーノ」(右上、グランドウーカ)、「早春キャベツのファルスマグロ」(右下、同)

同大学で栄養学を学ぶ学生が考案し、京急百貨店内10階のレストラン「おぼんdeごはん」と「グランドウーカ」がアレンジして完成しました。同店舗で2020年1月9日から2月5日まで販売されます。今後は、産地見学や収穫体験などを行う予定です。

三浦市農協JAよこすか葉山、神奈川県本部と昭和女子大学が三浦半島産ダイコン・キャベツを使ったメニューを開発するプロジェクト「Do You Vegetables?」。3年目となる今年のメニューが決まり9月25日、横浜市港南区の京急百貨店で披露会を開きました。

News!



就農や農業アルバイトに関する相談会を開催

JAグループ愛媛担い手サポートセンターが県内初の取り組み

愛媛県本部

来場者の相談に応じる愛媛県本部職員ら



同サポートセンターが県内で相談会を開いたのは初めてです。就農を希望する来場者に対し、愛媛県本部やJAの担当者らが、県内の就農状況や選果場のアルバイトの募集状況などの相談に応じました。

JAグループ愛媛担い手サポートセンター(愛媛県本部)とJAえひめ中央、人材派遣会社のアビリティセンター(株)は9月29日、松山市内で就農や農業アルバイトに関する相談会・座談会を開きました。

News!



「空フェス2019」に秩父4Hクラブと出展

生産者と生活者をつなぎ、農産物の魅力伝える

耕種総合対策部TAC推進課

秩父の農産物をPRした共同ブース



この取り組みは今年度で5回目となり、秩父の農産物を生活者にPRしました。揚げたてのしいたけ天ぷら串や、秩父のB級グルメ「みそポテト」が人気でした。秩父4Hクラブの皆さんは「秩父の農産物を楽しんでもらえてうれしい。来年もぜひ出展したい」と喜びを語りました。

全農は秩父4Hクラブと連携し9月28日、東京・大田区で開かれた「国際都市おおたフェスティバルin『空の日』羽田2019」に共同出展しました。

News!



広島県産飼料米を使用した卵「ひろたま」発売

地産地消と地域循環型農業を実践

広島県本部



広島県産の飼料用米を加えた餌を与えて生産した卵「ひろたま」

「ひろたま」のコンセプトは、地産地消と地域循環型農業の実践です。配合飼料には広島県産の飼料用米を10%添加しており、農地の維持にも貢献します。多収性品種や低コスト技術を導入し稲作農家の経営安定化を図るほか、飼料自給率の向上を目指します。また、商品の販売を通じて、持続可能な広島県農業への理解を広げます。

11月から、主に県内スーパーなどで販売されます。12月からはテレビCMを放映予定です。

広島県本部は11月から、広島県産の飼料用米を飼料に使用した卵「ひろたま」を開発し販売を始めます。

News!



「つぶぞろいのお酒」2000本を限定発売

秋田県オリジナル品種の米「つぶぞろい」使用

秋田県本部

「つぶぞろいのお酒」を発売した記者会見



今後は、日本酒をはじめとした加工品を通して「つぶぞろい」の話題づくりを進め、認知度向上と販路拡大を図ります。

この日本酒は、秋田市の農業法人(株)上新城ノーザンビレッジがプロデュース。原料の「つぶぞろい」を、JA秋田しんせいが秋田県本部を通じて供給し、秋田清酒(株)が醸造したもので、お土産や贈り物などの需要も見込み、観光の面でも一役買うことが期待されます。

秋田県オリジナル品種の米「つぶぞろい」を100%使用した日本酒「出羽鶴 純米吟醸 つぶぞろいのお酒」が2000本限定で、10月25日から秋田県内の酒販店などで発売が始まりました。

News!



「もっちり玄米パックご飯(黒米入り)」発売

サンキュ! 全農ブロガーも商品開発に参画。Amazon限定販売!

営業開発部



商品開発に参画したサンキュ! 全農ブロガーの皆さんと「もっちり玄米パックご飯(黒米入り)」

業務提携先である「株結わえる」の圧力釜で炊き上げたもっちりもちの玄米をパックご飯にしました。開発には、全農グループMD部会を中心に、サンキュ! 全農ブロガーも参画。グループインタビューで交わされた意見を反映し、忙しい女性に向けて「私のための商品」というコンセプトで商品を開発しました。

「そのままでもいい。そのままがいい。一日一膳の健康から」をキャッチフレーズに、「私ならではの玄米MY TIMEを楽しんでほしい」という想いを込めました。

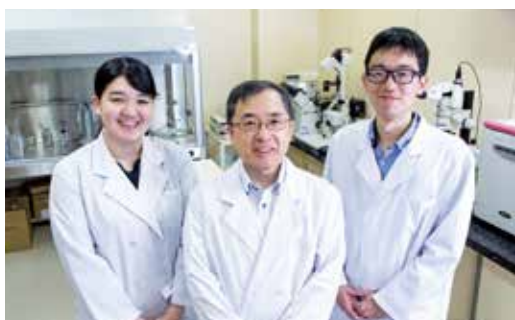
全農は10月23日、Amazon限定の「もっちり玄米パックご飯(黒米入り)」を発売しました。

畜産事業の研究最前線 8

畜産事業の研究を紹介する当シリーズ最終回となる第8回は、ET研究所 研究開発室です。北海道土幌町にあるET研究所では、優良な和牛受精卵の製造・供給や和牛受精卵を妊娠したET妊娠牛の供給、和牛精液の供給などを行っています。ET研究所は、受精卵の品質向上や生産性向上について研究する研究部門と、製造や販売などを行う事業部門に分かれており、このうち研究を担当するのが研究開発室です。

受精卵の生産性を上げ 生産者のコスト削減に貢献

優れた能力を持つ雌牛に過剰排卵処置を施し、そこに優良な雄牛の凍結精液を人工授精します。その後受精卵を採卵し、良質の受精卵だけを選別したうえで、他の雌牛に移植する事をET(Embryo Transfer)。



ET研究所 研究開発室の研究員

ET研究所 研究開発室

ansfer＝受精卵移植)といいます。

雌牛に人工授精を行うとい

し、更に受精卵のうち移植が可能な正常卵の割合を増やせば、そのぶん生産原価が下

ET技術を極め 和牛生産の現場を支える

う通常のやり方では、どんなに効率が悪くても1年に1産ですが、採卵により良質な受精卵を一度に10個生産できれば、優秀な能力を引き継いだ子牛をそれだけたくさん生産する事ができます。

研究開発室の大きなテーマは、受精卵の生産性を上げる事です。採卵する雌牛の1回の排卵数や受精卵数を増や



ET研究所では供卵牛を約500頭、受卵牛を約1200頭飼育している

マイクロアレイスキャナーを用いて、和牛形質に有用な遺伝子の機能解明に関する研究を実施



げられます。それは販売価格を抑える事につながり、生産者のコスト削減に貢献できます。

受胎率向上に向けた研究も

もう一つの課題は受胎率の向上です。近年、和牛生産者は激減しており、和牛の生産基盤が衰退しています。そこで増えているのが、和牛受

精卵をホルスタインの雌牛に移植し、和牛を生産するという手法です。和牛子牛は交雑牛(F1)より高く販売できるため、酪農家の収益向上にもつながります。

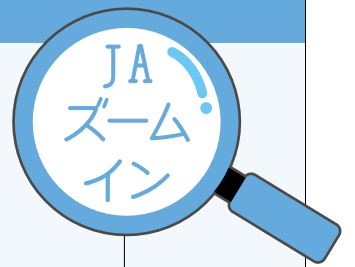
しかし移植をした際の受胎率が低ければ、空胎日数が延び余分な飼料代がかかり、酪農家の場合では乳代が得られる時期も遅れます。このような課題を解決するため、研究開発室では受胎率向上に向けた研究にも取り組んでいます。

(シリーズおわり)

【畜産生産部】



受精卵の分裂の様子をリアルタイムでモニターし分析している



健康志向に広がるGABAライス

ブランド力高め販路拡大へ

JA鳥取西部は2017年9月、国内最大級かつ最新の「GABAライス生成装置」を大山水系カントリーエレベーター（鳥取県

伯耆町）に導入しました。

ストレス緩和に役立つと注目を集めるGABA成分

この装置では、もみの状態



東京で開かれた「鳥取フェア」でGABAライスを販促

態で加湿・加温し、胚芽部に蓄積されたグルタミン酸からGABAを生成。胚乳部に移行させることでGABAライスを作ることができます。GABAを人工的に加えるのではなく、米が持

つ本来の力を最大限に引き出すのが特徴です。

GABAライスは、通常の白米に比べて、5〜10倍のGABA（γ-アミノ酪酸）が含まれ、血圧上昇を抑える働きやストレス緩和が期待できます。食味や食感

は白米とほぼ変わらないため、主食のご飯からGABAを摂取できます。

ターゲットは健康志向の消費者

GABAライス生成装置の導入以来、京阪神での販



GABAライス生成装置

売はもとより、首都圏での試食販売や展示会への出展など、積極的なPR活動を行っています。今年9月には、東京の銀座三越で行われた「鳥取フェア」での試食販売や、自由が丘のライフスタイルショップなどで「GABAライスフェア」を開きました。健康志向の30代から50代の来店者に大変

GABAライスのパッケージ



興味を示していただきました。米の市場は産地間の競争が激化する中、より付加価値が高いものが求められる状況になりました。GABAライスの利点をより多くの消費者に知っていただく機会を作り、知名度向上やファンの拡大、さらには主食用米の新たな販路拡大を図り、農業所得の増大につながります。

JA鳥取西部（鳥取県）



概要		平成31年1月31日現在
正組合員数	1万4898人	
准組合員数	1万1696人	
職員数	696人	
販売品取扱高	112億7千万円	
購買品取扱高	69億6千万円	
貯金残高	2088億8千万円	
長期共済保有高	6355億6千万円	
主な農畜産物	米、白ネギ、	
大山ブロッコリー、梨、日南トマトなど		



みのりみのる11店舗で北海道フェア実施中

旬の道産食材を使った特別メニューを提供

フードマーケット事業部

全農が全国で運営するみのりみのるブランドの飲食店11店舗で10月24日から、北海道フェアを実施中です(11月8日まで)。

みのりみのるブランド店舗で全国共通フェアを行うのは初めてです。

ホクレンと連携し、収穫シーズン真っ盛りのジャガイモ、カボチャ、ユリ根、エダマメなどの野菜、北海道産豚肉を丁寧に仕込んだ生ハム、生産量日本一の北見地方のタマネギのコロッケ「たまコロ」など、北海道産の食材を使用した特別メニューを提供します。



岩手と北海道のみのりみのる純純ハンバーガープレート(盛岡店)



北海道産豚もも肉 生ハム冷燻のカルパッチョ(仙台店)



かぼちゃプリン(銀座店)



ゆり根と枝豆のスコーン(大分店)

※上記は各店舗限定のメニュー

実施店舗

岩手	みのるダイニングフェザン店(盛岡)
宮城	みのりカフェ エスパル仙台店
	グリルみのる エスパル仙台店
東京	みのりカフェ 銀座三越店
	みのる食堂 銀座三越店
	みのりみのるキッチン エキュート品川店
	ラ・カンパニー(大手町)
新潟	カフェ&グリルみのりみのる 新潟店
広島	みのる食堂 エキエ広島店
福岡	みのりカフェ 福岡天神店
大分	カフェ&ダイニングみのりみのる アミュプラザ大分店

各店舗の詳細はこちら →



純情産地いわての店「みのるダイニング」×JAいわて中央

「秋のフルーツフェア」開催中!

岩手県本部が運営する純情産地いわての店「みのるダイニング」では、JAいわて中央とコラボした「秋のフルーツフェア」を開催中です(12月上旬まで)。**【岩手県本部】**

西洋梨・リンゴは県内でも有数のフルーツ産地であるJAいわて中央管内(盛岡市・矢巾町・紫波町)の物を使用。西洋梨は4品種・リンゴは5品種、それぞれの旬に合わせて提供します。ぜひこの機会に、「純情産地いわて」のフルーツをご賞味ください。

店舗概要

店舗名
純情産地いわての店「みのるダイニング」

住所
岩手県盛岡市盛岡駅前通1番44号
盛岡駅ビルフェザンおでんせ館1F

電話番号 019-601-7214

営業時間 11:00～21:30



JAいわて中央管内のフルーツを使った焼き洋なし(左、税抜き380円)、焼きりんご(税抜き380円)

JAタウン ショップ紹介

JAタウン |

検索
クリック

銀山のおくりもの(島根県・JAしまね石見銀山地区本部)



三瓶わさび(M3～4本入り)
.....4620円

JAタウンは
こちらから



「^{さんべ}三瓶わさび」は、島根県大田市三瓶町にある大山隠岐国立公園「^{さんべさん}三瓶山」の麓で、澄んだ湧き水が流れるワサビ田で大切に育てられたワサビです。チューブや粉わさびと違い本物のワサビはツンとする辛さの中に爽やかさとまるやかさがあり、甘さも感じます。風味豊かで鼻に抜ける香りは本物ならではのです。

「銀山のおくりもの」は、島根県大田市のJAしまね石見銀山地区本部が運営するショップです。氷点下でも食材が凍らない技術を使った保管庫で氷感熟成させた「氷感熟成米」や、江戸時代から受け継がれていると言われている「あか穂もち」のほか、その時期の旬の野菜セットや、果物、島根県大田市のブランド牛「石見銀山和牛」の商品を取り扱っています。

この機会にぜひ、サイトをチェックしてみてください。

JA全農のインターネット
ショッピングモール

▶ご注文は <http://www.ja-town.com>

▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。

